



重枝治美さん

J-SHINE小学校英語上級指導者
NPO教育支援協会「放課後イングリッシュ」指導者
新小岩英語クラブEFL Arena講師
川崎市公立小学校英語活動講師
横浜市YICA*1サポーター

今回はNPO主催の放課後事業や民間の英語教室の英語指導者として、また川崎市や横浜市内の小中学校では英語支援者として、幅広く英語教育に貢献、活躍されている重枝さんの実践報告です。



J-SHINE 通信
2014年11月号

■ J-SHINE資格及び上級指導者資格を取得のきっかけ

長女が入学した小学校で、外国語活動ボランティアの募集がありました。当時はまだ総合学習の一部で国際理解に近い授業でしたので、旅行業界に8年間勤務した経験を生かせればと思い応募しました。その時に、教職免許を持っていないのに教壇に立つことに不安を抱いたこと、きちんとした英語の指導法を学びたことからJ-SHINE 資格の取得を決意。アルクの通信教育で勉強を始めました。通信教育を終了するとJ-SHINE 主催の研修があり、そこでNPO 教育支援協会が行っている放課後事業の英語指導があることを知りました。それが現在の主な活動となっている「放課後イングリッシュ」とのご縁の始まりです。2007年、外国語活動が必修になる直前のことでした。

その後、J-SHINE 資格保持者が次第に増えてきたので、次は上級資格を取りたいと思いました。しかし、放課後教室だけでは上級指導者資格は得られず、小学校の正規の授業に関わる必要があります。そんな折、地域情報誌の2010年12月号の記事「学校支援センター ボランティア募集中」に目が留まりました。区役所の子ども支援室が窓口でしたので、問い合わせをして出向きお話を伺いました。しかし、需要としては伝統芸能の講師や中学校の学習支援が多かったので、「英語活動は当分話がないかな。」と思いつつも登録し、資格欄に「J-SHINE 小学校英語指導者資格」と記入してきました。すると3月、予想以上に早く「区内の小中学校から問い合わせがあったので一緒に行ってみませんか？」と電話があり、支援室のコーディネーターさんと先方の教頭先生を訪ねました。前任の方が引越され、困っていたところだったと、大歓迎してくださいました。初年度は、ボランティアということで交通費程度の謝金でしたが、私の目的は「上級資格を取るための経験時間数を得ること」だったので、目的達成のために毎回の試行錯誤を積み重ねながら一生懸命に取り組みました。すると年度末、教頭先生から「来年度は予算を組むので、講師として来てくださいませんか？」と有難いお話をいただきました。そうして2年目に無事に必要な時間数をこなし、上級資格を得ることができました。

*1 YICA : Yokohama International Communication Activities
(横浜国際コミュニケーション活動)
YICA サポーター
(YICA で担任の補助をする、英語に堪能な地域住民)

■ 現在の活動状況

川崎市の小学校は今年で4年目になります。この学校では、5、6年生にはALT(外国人助手)が入っており、1~4年生をHRT(担任の先生)と私とのTT(チームティーチング)で年間5時間ずつ行っています。また、今年度から新たに横浜市の小学校での授業も始まりました。こちらは、J-SHINE のホームページの「上級指導者を探そう」をご覧になった先生から、推薦団体であるアルクを通じての依頼でした。横浜の小中学校では1年生から年間20時間の活動があり、1~6年生の活動の3分の2をHRTとALTが、残りの3分の1をHRTとサポーターの私とのTTで行っています。いずれの学校も、各学年に連絡担当の先生を決めて下さっていて、その先生方と主にFAXで活動案などの連絡を取り合っています。各小学校は同じ神奈川県にありながら、地域、子ども達にそれぞれの特性があり、さらにクラスによってもカラーがあります。1学年4クラスで1時間目から4時間目まで同じ授業をしても、違う展開になるのが面白いです。まるで調理実習のようです。同じ材料、同じレシピで作っても、班毎に出来上がりが違うことがあるでしょう。同じ教材、同じ活動案でも、授業にそれぞれの味が出るのは、子どもたちの個性があり、担任の先生の指導の技があり、皆で楽しく作り上げているからに他なりません。1年目よりも2年目、2年目よりも3年目と英語が好きと言う児童が増えたこと、英語を聴いてわかろうとする児童が増えたこと、担任の先生方が協力的なこと、数々の嬉しい反応がありました。それぞれの校風、個性を尊重した活動の中で、自分ができることは何かを常に自問しています。

■ 今後の展望・目標

上級指導者資格を取るためにスタートした英語活動ですが、担任の先生方からはクラス運営や子ども達との接し方を学び、子ども達からは Teaching is learning で実に多くの事を学んでいます。ALTの先生とは、英語活動の話のみならず、国の習慣の違いなどいろいろな話をしています。上級者資格を取得したことで、さらに出会いが広がりました。2020年東京オリンピック開催が決まり、「グローバル」という言葉が多用され、英語教育が大きく動いている今、英語活動に関われることを感謝すると共に、子ども達の可能性を引き出す手助けをするために、さらなる勉強と経験を積んでいきたいと思っています。